

こんにちは！お元気ですか。

マツサカエンジニアリング メルマガ 29号を送ります！お楽しみください！

（※お電話頂いた時は・・・お電話有難うございます。

メック（英文名：Matsusaka Engineering Co.,Ltd の頭文字で MEC）です！と応答しますので  
宜しく願います）

---

—★ News Topics ★—

- [1. MEC 納入情報]      QP-3TS（防音ポンプ）納入情報 続報
  - [2. MEC 製品情報]      宣伝不足シリーズ QP-205SX
  - [3. MEC 来訪情報]      お取引先様 ポンプの研修会開催
  - [4. MEC 製造部発信]      製造部に於ける有資格者業務の紹介
  - [5. MEC 営業部発信]      2023年度 MEC カレンダー
- 

---

☆☆—————☆☆

TOP NEWS 当社おすすめ商品・イチ押し商品をピックアップ

☆☆

皆さん！「QP-3TS」は覚えて頂けましたでしょうか！日・米で特許を取得済（カナダも出願中）の製品で、3は3インチ、Tはトラッシュ、Sはサイレントを意味します。

以前本メルマガで防災用品専門商社様を通じ初めて防災用で消防局に納入が決まったことはお伝えしましたが、その同じ株式会社船山様を通じて更に3台、計4台が千葉県柏市消防局に納入されました。船山さんは一昨年からコロナで展示会ができないことを機に4tトラックを新規導入、移動展示会キャラバンを実施し各地消防局を中心として訪問PRを続けられました。今回の3TSもキャラバンカーでのPRが納入のきっかけです。

採用された柏市内水害ハザードマップ地域は住宅に近いところもあること、災害は昼夜を問わない為、エンジンの騒音問題が解消されること、汚泥水が扱えること、可搬性、11L大型タンクによる長時間運転が可能なこと等、総合的に評価された結果導入となったものです。

採用にあたっては3TSをはじめとした洪水災害備品を装備したワンボックス車両とのパッケージで納入されたため、いざ水害発生時はこのワンボックス車が現場に向かうことになります。

●実際の写真はこちら↓

<http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2023/01/QP-3TS.pdf>

また各地での水害発生時の汚泥水排水に清水用の消防ポンプを使用し、ポンプがダメになるという事案も実際に起こっているようで、トラッシュポンプの頑丈さ、災害時電源が必要ないエンジンポンプの機動性、弱点である音の問題の解消と、まさに増加傾向にある都市型水害に適した製品であると営業部一同思いを強くしています。引き続きPRしていきます。

（営業部 輪嶋記）

☆☆—————☆☆

MEC 製品情報：お恥ずかしながら！宣伝不足製品シリーズ！

☆☆

こんにちは！ 営業部です。

当社の製品ラインナップに於いて 高圧タイプのポンプが一番種類が豊富です。

1インチ～4インチ迄の口径別、また各種エンジンとの組み合わせと幅広く種類がありますが中には明らかな宣伝不足から、あまり知られておらず、ひっそりと鳴りを潜めているモデルがあります。

とはいえこれは国内市場に限る事で海外向けには絶賛好評頂いておりますので！今回はよい機会なのでそんな製品のご紹介をさせて頂こうと思います。

## 2吋高圧エンジンポンプ

- モデル：QP-205SX
- 搭載エンジン：HONDA/GX160 高速回転仕様
- 性能：最大揚程 90m 最大吐出量 350 L/min

このモデルの特徴は何と言っても高速回転エンジンを搭載していることです。通常ポンプに搭載しているエンジンの回転数は 3600rpm/分ですがこのエンジンは 4500rpm/分 の高速回転仕様となっており、この高速回転で高揚程を実現している訳です。高速回転だと性能が上がるのか??? と、ふと疑問を感じたりしますが、スロットルを緩めて回転を落とせば水の勢いが落ち、再びスロットルを開いて回転を上げて行く程、水が勢いを増しますので高回転になれば高揚程になるという訳です。

エンジン回転数というとは今は一般的には馴染みが減ってきたかもわかりません。

例えば車でいうと意図的にシフトチェンジを行うマニュアルの車やバイクのタコメーター（回転計）を見ていると、シフトチェンジと回転数の関係がよくわかると思います。昔はマニュアルの車も結構人気ありましたが今の車は殆どがオートマチックでコンピューターが最適な回転数を維持しながらシフトチェンジをしてくれますので中々意識する機会が減っているかと思います。少し脱線しました。

そしてこの高速回転エンジンですが前述の通り、1分間の間に軸が 4500 回転している訳ですが、ポンプですのでこの軸に羽根車がついてケース内を高速でぐるぐると掻きまわしている訳です！想像すると凄いですね！！

仮に卵白入れたらすぐメレンゲが出来そうな感じです。

というのは冗談ですので決してやらない様をお願いします。

このサイズ感でこの圧力は中々の掘り出し物ですので是非ともお見知りおきの程お願い致します。

という事でご興味ある方、製品情報は此方です。

↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓

\*製品情報ページ <http://www.qp-pump.com/blog/product/qp-205sx/>

\*高圧総合カタログ <http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2020/10/WDC001808.pdf>

またご質問等ございましたら気軽に弊社営業担当までお問合せください。

(営業部 和田記)

☆☆—————☆☆

MEC 来訪情報：取引先様の三重県工場へ・・・！

—————☆☆

今回は米国赴任に際し、製品研修で工場来訪されたお客様をご紹介します！

QP 製品の中で「汚泥水排水ポンプ Trash Pump」の最大の市場は米国です！

米国向けトラッシュポンプの取り扱い(年間約1万数千台)は、約40年にわたり、現地グループ会社 Multiquip 社を経由し、伊藤忠商事 機械グループ部門に販売をお願いし米国市場でのトップシェアを維持できております。

MQ 社のホームページはこちら : <https://www.multiquip.com>

このような長い歴史の中で、QP トラッシュポンプの販売推進は Multiquip 社創立者の Mr.I.Levine ポンプの神様と言われた Mr.Ken Putnam、そして中興の祖：Mr.Tom.Yasuda 縁の下の力持ち的存在の Mr.D.Tamura を始めとした多くの方に支えられて今日の販売の基盤が作り上げられております。

<http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2023/01/MQ-PICTURE.pdf>

この十数年の間に於いても、製品の「Family 化」「オリジナル製品の開発」「特許製品」等々の推進も実施されている所ですが新年度を迎えるにあたり「伊藤忠本社から新たな戦力 Mr.Watanabe が Multiquip 社に派遣されることになり、昨年末に三重工場にて「現場を見る・現場に学ぶ・現場で触る！」研修に来訪され、「見つめて・講義を受けて・動かして・飛ばして・持ち上げて・驚いて」のフルコースを堪能して頂きました！

これでまた QP ポンプのファンが増えたと確信します！米国市場での販売促進に期待出来るでしょう！

Mr.Watanabe は「プレッシャーだなあ！」と言っていました！

●実際に来訪頂いた時の写真を少しご紹介↓

[http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2023/01/CUSTOMER.PC\\_.pdf](http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2023/01/CUSTOMER.PC_.pdf)

やはり 机上の知識だけではなく

『実際に物を見て・触れて・動かす』事で QP ポンプ ファンを増やしたい!!  
ポンプ性能に自信があるからこそ、まだまだ QP ファンを増やしていける可能性を感じています。

(福沢記)

☆☆—————☆☆

MEC 製造部に於ける有資格者業務をご紹介します！

—————☆☆

「品質マネジメントシステム QMS 9 0 0 1 を 2000 年に認可取得以来」弊社内に於いて「有資格者でなければ従事できない業務」が明確にされています。

その区分「公的資格業務」にはクレーン操作・溶接業務・プレス機械操作・ボット溶接・そのプロ

グラミング業務そして玉掛け・フォークリフト運転等の業務が主なるものです。他に労働基準の安全衛生に係る労働安全推進者・職長等 特定化学物質 作業主任が実施する有資格業務が有りますが、今回は製造部業務の中で規定の「品質維持に必要な社内資格業務」をご紹介します！

その他にも技術部門の設計業務・設計検証業務、購買部の資材受入検査業務、営業部の貿易業務（コンテナ積付・船舶予約・信用状取り扱い等・加えて QMS 活動の P・D・C・A 推進の為に「内部監査員」の業務等が資格保有者の業務となっておりますが、因みに製造部は今年より「各員の技量 Up 目標を具体的に設定」し「二人のペアチーム」による「互いの監視・協力による目標への挑戦」に取り組んでいます。有資格業務のみならずチーム力量のグレードが上がる事が期待できます！

★工程内検査（リーク検査）

<http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2023/01/LEAK-TESTING.pdf>

★検査手直し業務

<http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2023/01/REWORK.pdf>

★製品検査

<http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2023/01/PRODUCT-TESTING.pdf>

★工程内検査（インペラーギャップ）

<http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2023/01/IMPELLER-GAP.pdf>

★製品の重量計測

<http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2023/01/WEIGH.pdf>

（製造部 和田記）

☆☆—————☆☆

MEC 営業部発信：2023 年度オリジナルカレンダー紹介

☆☆—————☆☆

恒例となっている MEC オリジナルカレンダー。2019 年度カレンダーを初めて発行してからかれこれ今年で 5 年目の発行となります！

毎年 MEC らしく色んな工夫を施したカレンダーを発行しているつもりではいますが、如何でしょう。皆さんの会社やご自宅で MEC カレンダーをご愛用頂けますと非常に嬉しいです。

また、毎年お伝えしておりご存じの方 多いかと思いますが、今年のカレンダーに掲載している写真ももちろん全て MEC 社員が撮影したものです。

どれも社員にとって思い入れのある写真。カレンダー写真の所に小さくですが、撮影者名・撮影場所・写真のキャッチコピーを載せておりますので、必見です！

しかも 写真の美しさだけでなく、ネーミングセンスも抜群～！！

●一部となりますが、12 名の掲載写真ストーリーを少しご紹介↓

<http://www.qp-pump.com/wp/wp-content/uploads/2023/01/MEC-CALENDAR2023.pdf>

～あるお昼時間の MEC 社員 雑談～

『MEC カレンダーは、日付箇所が大きいから予定が書きやすいのよね～、使ってる～??』

『でも、当月ページに来月の暦も小さく載ってるともっと便利だと思わない～?』

と女子社員達の楽しそうな話し声が聞こえてきました。

カレンダー担当者としては、（ふむふむ、確かにそうだな！ 次回 改良してみよう）・・・と思い立ちました。

大体この会話で想像つくかと思いますが、カレンダーの実用性も少し向上しています。

MEC カレンダーは イチから社内でデザインしています。

カレンダーの作り手として QP ポンプと同様 前よりもいいモノを作る！

もっと使ってもらいたい！など 熱〜い思いを込めて毎年作成しています。

2023 年もカレンダーを通じて MEC 製品に気を留めて頂けるお時間が少しでもあると嬉しいです。

そして今年も皆さんにとって充実した一年になりますように！

（営業部 長谷川記）

では、今日はここまで！！

最後までお付き合いいただき、誠に有難うございました。

また、次回も宜しくお願い申し上げます。



○メール配信停止をご希望の方はこちらまでご連絡ください。

（配信停止以外のお問い合わせは、担当営業までお願い致します）

[info@qp-pump.com](mailto:info@qp-pump.com)

○配信元：株式会社マツサカエンジニアリング

<http://www.qp-pump.com/>

東京本社

東京都千代田区神田松永町 2 3 番

TEL : 03-3257-6130

FAX : 03-3257-6129

工 場

三重県多気郡多気町野中 2 1 5 5

TEL : 0598-39-3211

FAX : 0598-39-3131

発行/(株)マツサカエンジニアリング 営業部

